

## 〔長久手町業務評価票：平成 18 年度業務〕

課係NO・業務NO	-	・	総合計画	2 節 2 項	快適で安心して暮らせるまちづくり
担当課・係名	環 境 課 環 境 係【問合せ・質問等の先(内線番号)				1 6 4 番】

<b>業務の名称</b>	公害・その他環境用務衛生に関する業務					
(1)根拠法令・条例	騒音規制法、振動規制法、悪臭防止法、県民の生活環境の保全等に関する条例、長久手町美しいまちづくり条例					
(2)当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>20.0</u> % (係の総業務量を 100%とする) 職員延人数： <u>190.0</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>0</u> 人・日)					
(3)事業費 (人件費分を除く)	<u>2,974</u> 千円(平成18年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))					
(4)補助率(補助金がある場合のみ記載)	<u>0.</u> % (平成18年度実績)					
(5)業務期間	開始した年度	年度	終了(予定)年度	年度		
(6)業務の概要(簡潔に箇条書きで記載)						
業務目的(達成目標)	各種の環境阻害要因並びに苦情に対し、関係機関の協力を得て、原因調査、立入検査等を行い是正措置を行うことにより環境の保全に努める。					
業務が対象とする住民(地域・層)	町民全体					
業務の具体的な実施内容・方法 (平成18年度実績)	現地調査 原因者の調査、立入り 原因者との立会いア又は連絡通知					
業務の実施結果 (平成18年度実績)	苦情の現場確認や現状写真により、原因者に現況把握、説明を行い対応をしてもらうように図った。					
	【業務結果の説明指標】 (単位:件)					
		結果の説明指標	17年度	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1	騒音		15	18		
2	悪臭		37	72		
3	雑草		173	203		
4						
5						
業務の成果(業務目的の達成状況) (平成18年度実績)	苦情の発生源となる施設(浄化槽)の適正管理の啓発、雑草現況写真を添付して処理の推進を図った。					
	【業務成果の説明指標:基本計画準拠】					
		成果の説明指標	17年度 実績	18年度 実績	19年度 目標	将来目標
1	浄化槽の「清掃の」案内(件)		572	254		
2						
3						
4						
5						

(7)遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人的な要望のため対応に苦慮するものがある。</li> <li>・ 生活習慣の多様化により苦情対応が難しい。</li> </ul>

(8)改善実績（過去3年間の実績）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 雑草苦情の処理依頼通知に現況写真を添付することで、多くの不在地主への情報伝達に努めた。</li> </ul>

(9)業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	3点
コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	3点
住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	3点
総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	3点
他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	3点
		平均 3.0点

(10)総合評価（課の見解）	
今後の方向 （該当番号に○印）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 前年度と同じく、そのまま継続する。</li> <li>2. 見直して継続（業務の拡大）</li> <li>3. 見直して継続（業務の縮小）</li> <li>4. 見直して継続（方法の改善）</li> <li>5. 見直して継続（他業務と統合）</li> <li>6. 廃止する。</li> <li>7. 休止する。</li> </ol>
評価理由	住みよいまちづくりのため環境保全に、生活環境の向上に努める。

(11)今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
苦情処理の迅速な対応ができるよう、処理体制の検討を進める。